



府中市子どもの未来応援 基本方針

概 要 版



編集・発行 府中市 子ども家庭部子育て応援課

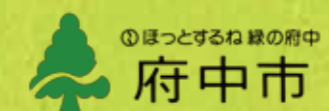
平成 31 年 4 月

住 所 〒183-8703 東京都府中市宮西町 2 丁目 24 番地

電 話 042-364-4111(代表) 042-335-4192(直通)

F A X 042-334-0810

ホームページ <http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>



1 策定までの流れ

背景 子どもの貧困問題
経済的な困難に限らないのではないか

調査 本市の実態を調査
養育上の困難もあることが判明

策定 調査結果を反映
多方面からの分野横断的な支援

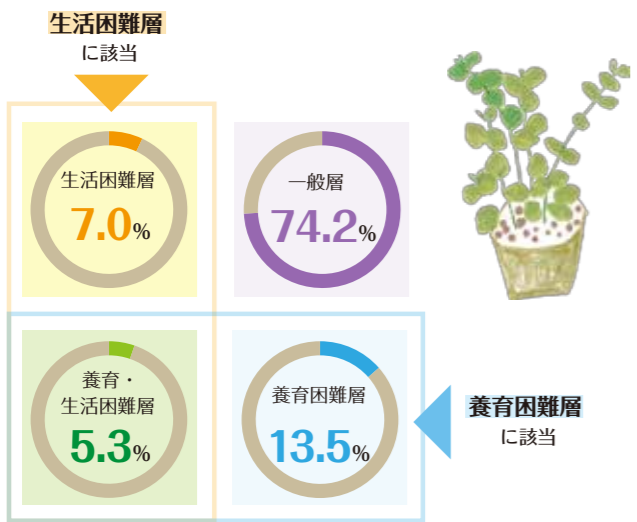
2 調査結果

① 概要

アンケート調査（小学5年生、中学2年生及びその保護者）とヒアリング調査（学校関係者、福祉関係団体等20団体及び児童扶養手当受給世帯の保護者20名）

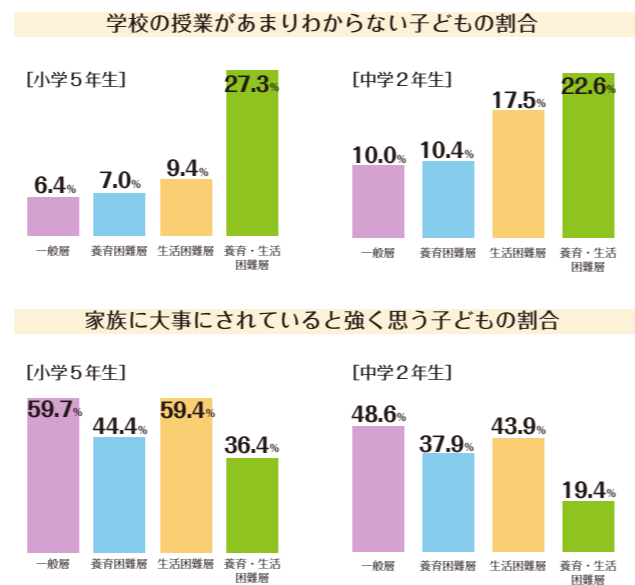
② 調査の視点（生活困難×養育困難）

東京都と同様の生活困難の視点と、本市独自の養育困難の視点から分析を行い、下のとおり、困難を抱える家庭を4類型に分類しました。



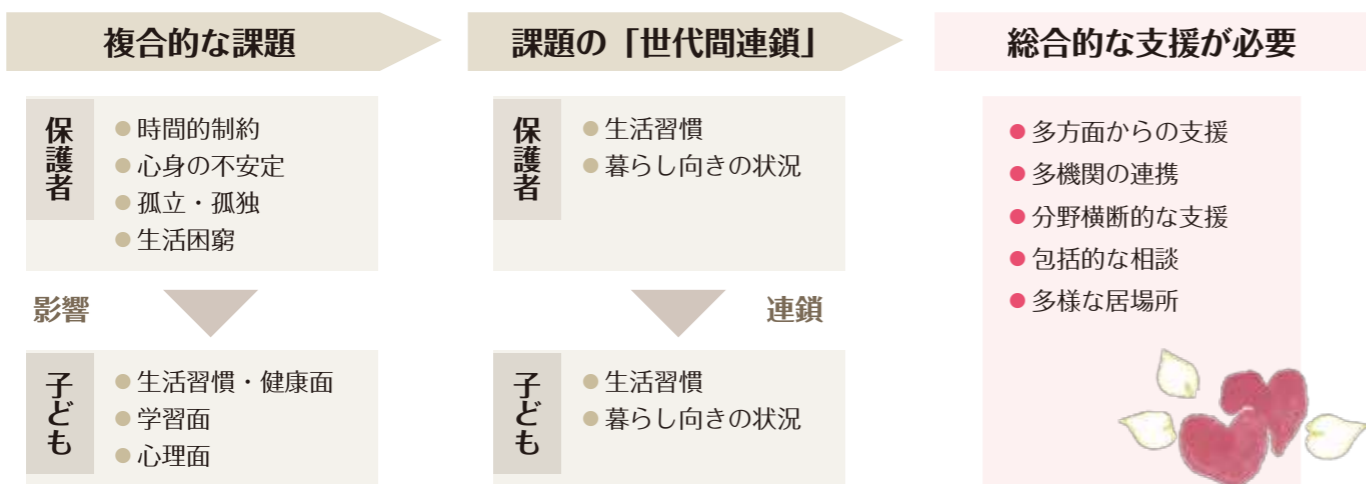
③ 子どもへの影響（生活・学習・意識面に課題）

養育困難と生活困難の課題が見られる家庭の子どもは、学習面や生活面に課題を抱える割合が高いことがわかりました。子ども本人の責任によらないところで、未来の可能性が狭まっている子どもがいるのではないかと考えられます。また、経済的な困難よりも養育上の困難を抱える子どもの方が、自己肯定感等の意識に課題を抱えやすい傾向もつかめました。

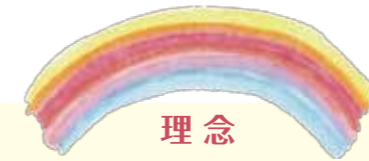


3 明らかになった課題と対策

子どもの育ちへの影響を与える複合的な課題や課題の世代間連鎖に対応するためには、多方面から分野横断的な対応が必要であることが明らかになってきました。



4 理念・方針



すべての子どもの未来が明るく、希望に満ちたものになるよう、まち全体で子育て家庭を支援し、子どもの健やかな育ちを応援します

方針1

乳幼児期からの切れ目のない支援

親から子どもへ続く課題の「世代間連鎖」を断ち切るため、既に表出・顕在化している課題に対して、より早期に対処するとともに、課題が生じないように切れ目のない支援を行います。

- 切れ目のない相談支援と情報提供
- 質の高い教育・保育の提供
- 母子の健康管理への早期支援

方針2

学童期からの多面的な支援

小学生以降は、学習面での課題が顕在化するだけでなく、心理面・人間関係の面など様々な課題を抱えるリスクが生じます。そのため、学校と地域の連携によって子どもの活動の場や居場所づくりなども含めた多面的な支援を推進します。

- 基礎学力を身に付けられる学習環境の充実
- 子どもの選択肢を広げる多様な体験の提供
- 子どもの成長を促す家庭教育への支援

方針3

地域での寄り添いによる支援

保護者や子どもに対する支援には、地域の方からの見守りやサポート等、日常生活の中での関わりが重要です。そのため、支援機関の連携体制や地域における協力体制の充実を図っていきます。

- 地域・行政が同じ目線でつながるネットワークづくり
- 様々な交流や経験ができる子どもの居場所づくり
- 強みを活かした市民協働の推進

方針4

生活基盤への経済的な支援

経済的な援助だけで複合的な課題を解決することはできませんが、経済的な問題は中心的課題の一つです。そのため、直接給付による支援だけでなく、保護者の就労支援や制度に関する情報周知などの施策を着実に実施します。

- 生活を支える給付・助成制度
- 保護者への就労支援
- 包括的な暮らしの相談

5 基本方針の位置付け・推進体制

本基本方針は、「第6次府中市総合計画」に基づく各種計画を推進するうえでの方向性を示すものです。

本基本方針を基に、組織の枠を超えた横断的な体制づくりを行います。

